

2014 9/17

## ペット高齢化 変わる市場

(1)

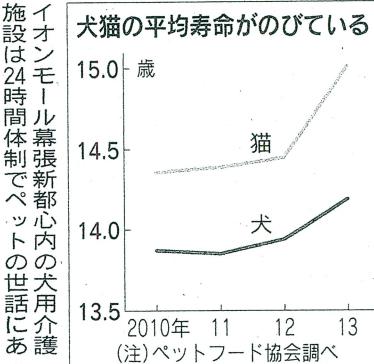
作りも変わりつつある。

獣医師が24時間常駐、心のケアとプール付きで月額20万円から――。老人介護向けの施設ではな

い。イオンモール幕張新都心(千葉市)に7月に開業した犬専用の介護施設は24時間体制でペットの世話を設立。専門スタッフが1



### ついのすみかは月10万円超



## 「家族」の思い ケア手厚く

ペットの高齢化が進んでいる。ペットフード協会の調査によると、2013年度の平均寿命は猫が15・0歳と人間なら76歳。犬も平均14・19歳と小型なら72歳、大型なら93歳にあたる。00年代前半の小型犬ブームで飼い始めた人も多く、年を重ねた「家族」にあわせ、企業の商品開発や売り場

ユールを決めて、体が弱った愛犬の2頭が余生を過ごしている。

16%。年とともに飼い主が世話をできなくなるべきが、それでも月に10万円。ペットフード協会によつては増えており「高齢化の問題は飼い主とペットの両方に及んでいる」という。

今は13歳のヨークシャテリアと16歳のビーグルの50歳代で20%、60歳代で

16%。年とともに飼い主が世話をできなくなるべきが、それでも月に10万円。ペットフード協会によつては増えており「高齢化の問題は飼い主とペットの両方に及んでいる」という。

今は13歳のヨークシャテリアと16歳のビーグルの50歳代で20%、60歳代で

2000円)を順次売り出した。鉄道やバスはペットの顔が見える状態での持ち込みを禁じている例が多いからだ。

ペット関連市場はフードなどを含めて13年度に1兆4233億円。ペット保険を手がけるアニコム損害保険によると、犬の日用品にかける費用は年に1万8064円と1

市場に参入した育児用品大手のコンビは、ベビーカーの技術を応用して老人用ペットを乗せて運ぶカートを売り出した。きっかけは4年ほど前。「ベビーカーを買ってくる犬連れの顧客が増えていた」という小売店からの報告だった。今年9月上旬から犬が入る箱状のキャリー部分が分離できる新商品(税別4万2000円)を順次売り出した。鉄道やバスはペットの顔が見える状態での持ち込みを禁じている例が多いからだ。

ペット関連市場はフードなどを含めて13年度に1兆4233億円。ペット保険を手がけるアニコム損害保険によると、犬の日用品にかける費用は年に1万8064円と1

市場に参入した育児用品大手のコンビは、ベビーカーの技術を応用して老人用ペットを乗せて運ぶカートを売り出した。立ち上がり

市场的腰の負担を減らし、長い距離を散歩できるようサポートする。大

型犬用の価格は1万70

00～1万9000円台と従来品に比べて3～4割高いが、一部で品切れになっている。

ペット関連市場はフードなどを含めて13年度に1兆4233億円。ペット保険を手がけるアニコム損害保険によると、犬の日用品にかける費用は年に1万8064円と1